

平成27年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	はとやまふれあい在宅サービス（家事援助サービス）
2	実施社会福祉協議会・団体名	鳩山町社会福祉協議会
3	活動年月日	平成27年7月21日（火）、8月17日（月）
4	活動場所（市名）	鳩山町ニュータウン地区内
5	内容	高齢者宅での掃除、お話し等の体験
6	活動の様子	



小学1年生の女の子がお母さんと参加してくれました。掃除機をかけた後、カーペットの上をコロコロしている様子です。1時間半の中で床の雑巾掛けも一生懸命にお手伝いしてくれました。

活動場所を提供してくれた88歳の女性の方も（息子さんと二人暮らし）、普段小さいお子さんとかかわることがなかったので、とっても喜んでおられました。

夏のボランティア体験の説明会の時、このプログラムの目的と内容を聞いた後に、参加を決めてくれた中学3年生の2人です。

活動場所を提供してくれた一人暮らしの82歳の女性の方は、ご自分のお子さんが男の子3人なので、女の子とお話しできることがとてもうれしかったご様子で、戦後の話、働いていた時の話など、2時間の活動の中のほとんどが傾聴でした。2人は昔の話を相槌をしながら、真剣に聴いてくれていました。

この写真は少しだけ残った時間で、急いでお掃除をしている時の様子です。



※鳩山町の高齢化率は高く、10年後には2人に1人が高齢者と言われています。それと同じように家事支援協力者の高齢化率も高く、今現在70歳前後の方が掃除、食事作り、病院の付き添いなどの支援を行っています。この先介護保険の法改正に伴い、家事支援の依頼も増えてくると考えられます。そこで夏のボランティア体験プログラムの中のメニューの一つとして掲載し、この活動を知らない若い世代やそのお母さんに知ってもらえないかと考えました。今回は2組のみの参加でしたが、親子体験で参加してくれたお母さんは、家事支援の協力者として登録につながり、早速、高齢者のお宅でお掃除の活動してくれています。またそのお母さんから他のお母さんへと少しづつ繋がって行こうとしています。